

経営比較分析表

岐阜県 恵那市

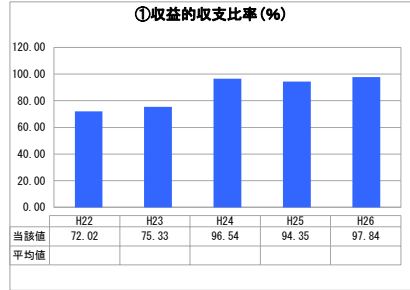
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	26.02	93.51	3,726

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,052	504.24	105.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,687	4.19	3,266.59

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

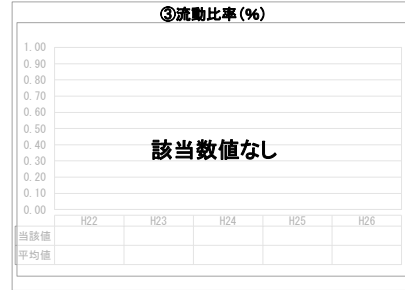
1. 経営の健全性・効率性



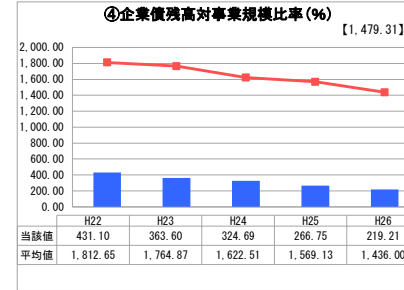
「単年度の収支」



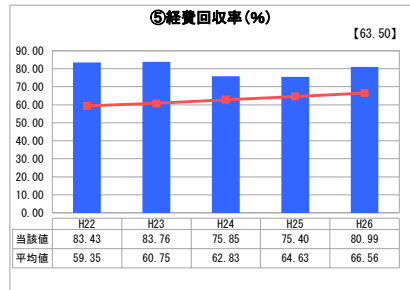
「累積欠損」



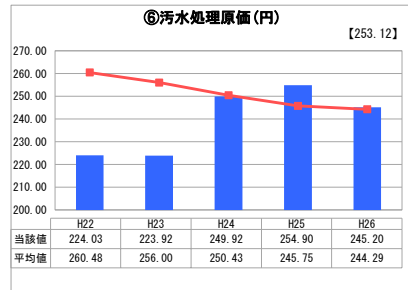
「支払能力」



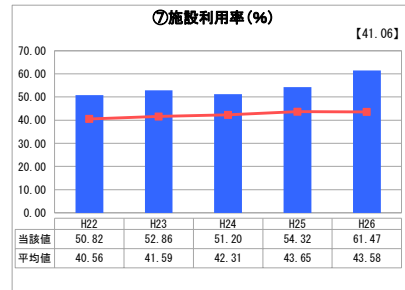
「債務残高」



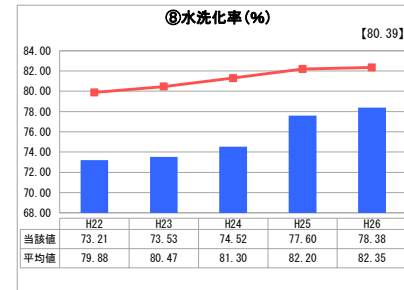
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

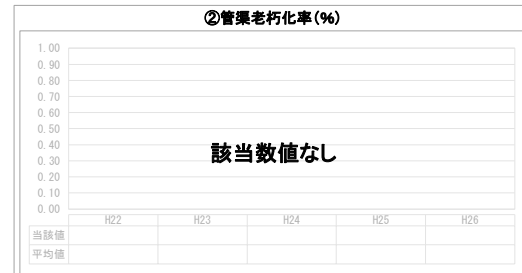


「使用料対象の捕捉」

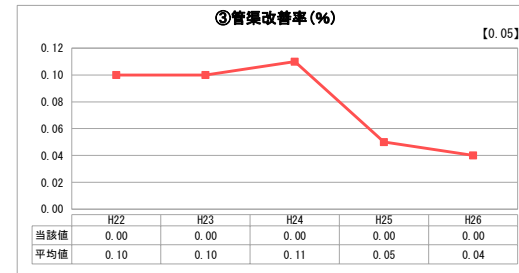
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率(%)
H22年度から上昇傾向である。
- ②企業債残高対事業規模比率(%)
H22年度から下落傾向である。今後、見込まれる、処理場や管渠の老朽化による更新等、地方債の借入には、投資規模・収益の適正を検討する必要がある。
- ③経費回収率(%)
現在、80%前半で、類似団体平均を上回っている。今後も、現状を維持できるよう、また、一般会計の繰出金の負担を軽減するよう安定した経営を行う。
- ④汚水処理原価(%)
類似団体平均値と同程度で、H25年度より下落している。
- ⑤施設利用率(%)
処理場類似団体平均値と同程度で、処理場の統廃合の影響により、H24年度から上昇傾向である。
- ⑥水洗化率(%)
H22年度から上昇傾向で、類似団体平均に近づいている。

以上から、経営の健全性・効率性は、類似団体平均値と同程度で、安定している。また、一般会計の繰出金の負担を軽減するよう、収益確保や経費削減等、経営安定化に向けての検討をする必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ①処理区において、早いもので、H7年度から供用開始をしています。処理場に関しては、一部、長寿命化計画を策定し、改築・更新等推進している。管渠に関しては、処理場と同様に、改築等の必要性を的確に把握し、計画的な更新を検討する必要があります。

全体総括

経営状況は、安定しているが、当市の人口は、近年減少傾向が続いており、また、節水型設備の普及により、処理水量は減少傾向であるため、施設利用率や水洗化率向上等、課題となっている。管渠の更新は、管渠の改築等の必要性を把握し、計画的な更新を検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。